

研究題目

新技術がもたらすモード走行燃費の改善効果シミュレーション

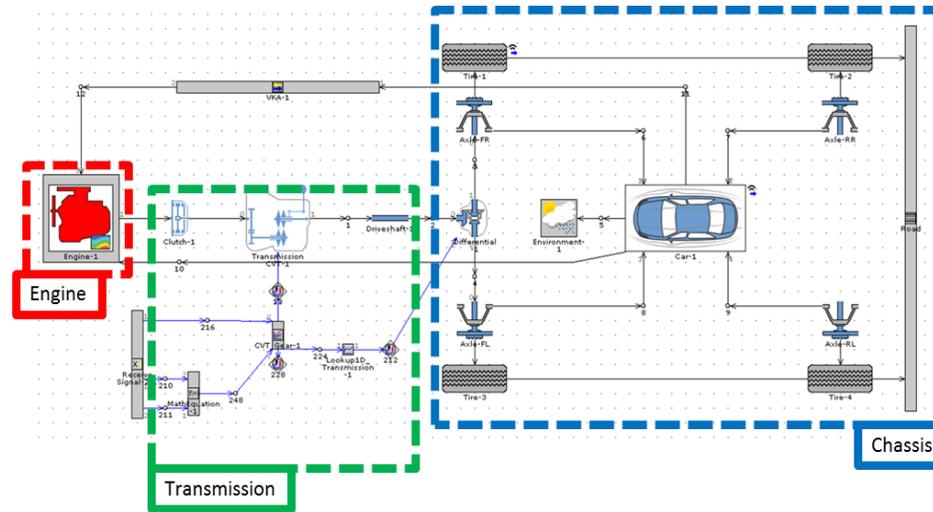
研究背景

内燃機関の燃費改善のために、過給ダウンサイジングや cooled EGR, 可変バルブタイミングの利用など多くの新技術が導入されている。

本研究では、これらの技術が燃費に与える影響を調査し、効果的な組み合わせを提案することを目的とする。

研究内容

- ▶ シミュレーションモデル(エンジン, モード走行)の作成
- ▶ エンジン性能試験
- ▶ シャンダイナモ実験
- ▶ 新技術導入による燃費改善効果検証



作成したモード走行マップに様々な新技術を導入することで燃費改善効果を検証する。

シャンダイナモ実験により, モード走行マップ作成のためのCVT制御マップを得る.